

スノーマン

清瀬中の1年生は、27日から29日まで、菅平にスキー移動教室に行ってまいりました。

菅平スキー場のゲレンデには玉置浩二さんの同じ曲が何度も流れていました。その曲名は「ファンファーレ」12月14日に最終回を迎えた、TBSテレビのドラマ「ザ・ロイヤルファミリー」の主題歌です。人間と競走馬が織りなす物語です。広瀬香美さんや松任谷由実さんの曲のようなスキーや雪を連想させる曲ではありません。競走馬が駆ける草原を想像してしまいます。このドラマは、会社社長で馬主の山王が、自分が果たせなかった夢の続きを疎遠であった息子である耕一に託そうと決意し、財産や競争馬への情熱を次世代へ引き継ぐことを考えます。突然引継ぎを強いられる耕一を熱演するのが、“目黒蓮”です。昨今、高い評価を得る俳優です。そこで、合点がいったのです。目黒蓮はアイドルグループ Snow Man に所属します。Snow Man すなわち雪だるまにたどり着きました。とはいえ、連日マイナス10℃を記録している菅平の雪は、固まりづらく、スノーマンを造りづらい!!雪国イコ



ールゆきだるまとはなりません。ところが、実技講習から帰ってくると、ホテルの入口にスノーマンがやんちゃな表情とバンザイで出迎えてくれたのです。これは、脚の怪我のためスキー講習に参加できない生徒による、自由時間における作品です。限りなく球に近い頭部と胴部。目黒く、小枝を利用しながらも感情があるかのような雰囲気を出した表情です。固まらない雪を両手で解かしながら湿雪とし、魂込めて固めた作品です。魂を込め、魂を宿らせたから感情があるやの表情なのでしょう。

スキー教室のスローガンは「七転び八起き～挑戦・成長・仲間と共に～」

リフト乗車 一本 目くろ うしていましたが徐々に慣れ、3日間、罹患する以外、全ての生徒達が完走しました。班ミーティングを行い、目標を掲げ、挑戦し、声をかけ合ったからでしょう。“仲間と共に”を強く感じました。スキー以外にも挑戦を感じました。インストラクターさんへの感謝の言葉、宿舎の方々への言葉、それぞれ感じたこと学んだことを自分の言葉で表しました。レクの司会者は、台本を読むばかりでなく、ボケに突っ込みとアドリブに挑戦。一方、みんなはゲームに果敢に挑戦します。それは、伝言ゲームならぬ伝絵ゲーム!「絵描けないし」「絵は苦手」そういった声が出ましたが、ゲームは進みます。伝達は困難を極め、なかなか正解を導き出せない。それでも、“仲間と共に”笑顔という正解にはたどり着きました。



「ザ・ロイヤルファミリー」最終話で耕一は「父親の夢じゃない。俺の夢だから。継承は押し付けられるものじゃない。選び取るものなんだよ」と語りました。自ら挑戦することが自らの成長を促すことをこの3日間で証明しました。誰かから押し付けられるものではありません。スキー教室が終わると間もなく1年生が修了します。進級に向けて「ファンファーレ」の曲が流れ始めそうです。「今にも壊れそうなへこたれた心にあなたは触れてくれた 上手くやれなくたって いいんだよ そのまま生きていきなさい 行きなさい」挑戦を繰り返してください。上手いかななくても支えてくれる仲間がいるのです。

17時過ぎに宮の台住宅バス停に到着。バスを下車すると出迎えの保護者の皆さんが多数いらっしゃいました。保護者の顔を見て、生徒たちは安堵したよう。

挑戦・成長・仲間と共に高みを目指した表情はもちろん、安心した 素のまんまの表情も素敵でした。